



2008年度就職活動結果

5期生の就職内定率86.8%

5期生の就職内定率は、厳しい雇用環境の中86.8%という結果になりましたが、今年も学生たちは大手企業や優良企業、あるいは地元企業に就職しました。5期生の就職環境は、当初大学生、大学院生を対象とした全国の民間企業の求人総数が約95万人と過去20年間では最も高く、また求人倍率も2.14倍と高い状態にあり、近年の売り手市場が続いていました。ところが、米国に端を発した金融危機の影響が、大学生、高校生を対象とした雇用環境に影響を与え、秋以降の採用選考の状況は急変。企業からの求人は極端に減り、学生たちの挑戦の機会は少なくなりました。このような採用状況激変の中、学生たちは最後まであきらめることなく活動を続けて、その結果就職内定率86.8%に到達することができました。

環境政策学科はあらゆる業種に、環境デザイン学科、情報システム学科はそれぞれ建設系、情報通信系の企業に半数近くの学生が内定するなど学科ごとの特徴が活かされました。また、資本金10億円以上の大企業には3割以上の学生が内定しました。

鳥取環境大学で学び身に付けた、自ら課題を見つけ調査分析をし、問題発見から

解決策を導き出す行動力や問題解決能力、あるいは情報処理能力などをさらに高め、将来必ずや企業や組織の中で活躍してくれるものと期待しています。



本学の特徴的な就職支援策「学内企業説明会」の様子

【5期生の主な就職先】

建設業

イチケン、シブヤバイピング工業、島根電工、住友不動産リフォーム、セキスイハイム中四国、大和ハウス工業、タマホーム、パナソニック電工ホームエンジニアリング、パナホーム兵庫、東日本ハウス

製造業

川上食品、川島織物セルコン、寿製菓、三洋エナジー鳥取、ダイヤモンド電機、高橋工業、日段、日本研紙、フジッコ、正光、マルチ、水谷ペイント

情報通信業

エコーシステムクリエイター、エヌアイシー・ネットシステム、エムアンドシーシステム、ゴンゾ、シーエスサービス、ジスクソフト、トランスコスモス、日本ラッド、プレイニーワークス、プロコーポレーション、ユー・エス・イー

運輸業、郵便業

岡山県貨物運送、九州旅客鉄道、西日本旅客鉄道、日本交通 鳥取本社、東日本旅客鉄道、日ノ丸自動車、ヤマト運輸

卸売業、小売業

あおき、旭食品、イオンリテール、トセキ中国、イワキ、えびす本郷、オートボックスセブン、カインズ、熊本大同青果、ゴダイ、コメリ、雑貨屋ブルドッグ、サンゲン、サンコーインダストリー、ジュンテンドー、スズキ自販鳥取、ダイキ、大冷、天満屋ストア、東京靴、常盤メディカルサービス、鳥取マツダ、トヨタカローラ鳥取、トライアルカンパニー、ドラッグイレブン、ナンバ、西日本フード、ネットヨタ山陰、バルコス、平林金属、フーズマーケットホック、不二貿易、ホンダカーズ鳥取、米良電機産業、山武商会、山野商事、ライフオート、リカーマウンテン

金融業、保険業

カトヤ証券、かんぽ生命保険、倉吉信用金庫、山陰合同銀行、全国共済農業協同組合連合会鳥取県本部、鳥取銀行、鳥取信用金庫、兵庫県信用漁業協同組合連合会

不動産業、物品賃貸業

共立メンテナンス、グローバル住販、山陰ステーション開発、積和不動産中国

学術研究、専門・技術サービス業

池下設計、キシモト、CLEO

宿泊業、飲食サービス業

くらコーポレーション、サンデーサン、ジョイフル、大和リゾート、日本マクドナルド、ワタミ

生活関連サービス業、娯楽業

鳥取県観光事業団

教育、学習支援業

京急油壺マリンパーク、鳥取環境大学

複合サービス事業

石見銀山農業協同組合、鳥取いなば農業協同組合、東宇和農業協同組合、丸倉、郵便局

サービス業

荏原エンジニアリングサービス、三光、ジェットシステム、自然公園財団鳥取支部、セコム山陰、総合警備保障、トータルサービス、鳥取県商工会連合会、夢真ホールディングス

公務

鳥取県、鳥取県警察本部、新居浜市役所、防衛省

行列のできる!?就職相談所 vol.5 実施報告

本学同窓会『Re;TUES』と就職課がタイアップし、卒業生による在学生向けの進路支援企画『行列のできる!?進路相談会VOL.5』を1月10日に開催しました。この企画は、同窓会を設立した2005年にスタートし、今年で5回目を迎えます。進学・就職・起業など、卒業後様々な分野で活躍している1期生から4期生までのOB・OGを相談員として招き、在学生からの進路相談に応じるものです。当日は、相談員一人ずつブースを設け、個別相談ができる体制で臨みました。相談員の構成は様々で、製造・小売・金融・サービス・公務などの業界で営業職・研究職・専門職・技術職などに携わっている者、起業して喫茶店を営んでいる者、農・林業などの第一次産業に携わる者、大学院へ進学した者などおよそ20名が、全国各地から集まってくれました。開催日は朝から雪が降り続き、大雪警報が

出る荒れ模様の天候にも関わらず、前回よりも多い150名を超える学生が集まりました。始まるたびにすぐに全てのブースが学生でうまり、一つのブースで30分以上メモをとりながら先輩の話に聞き入っていたり、閉会時間ぎりぎりまで先輩と話し込んだりする学生もいて、その熱心な姿が印象的でした。就職活動真っ最中の3年生はもちろん、1年生の姿も多く見られ、進路選択に向けての意識の高さがうかがえました。相談に応じる卒業生は、働く現場の雰囲気やできるだけ伝えようと、通常の仕事スタイルでブースに着きました。持参した会社パンフレットや自ら栽培し収穫した農作物などを手に熱く語る姿が見られました。

参加学生のアンケートには、「親身になって相談に応じてくれた」「時間が足りなかった」「とても良い刺激になった。こういう機会をもっと増やしてほしい」「先輩を目標にして頑張りたい」

など満足度の高い意見がたくさんありました。

同窓会のネットワークを活かしたこのような企画は、今後卒業生の層が厚くなるほど、ますます充実していきます。これまで毎年続けてきたこの『行列のできる!?進路相談会』を、進路支援の一環としてだけでなく、卒業生と在学生との交流の場ともなることを期待して、今後につなげていきます。



行列のできる!?就職相談所 vol.5 ブースの様子